

国語 問題 2／3	キャリア教養学科 生活科学科福祉こども専攻	受験番号	番 氏名
--------------	--------------------------	------	---------

⑤ 石の上にも三年

- ア 石の上で三年坐禅し悟った僧のように、どんな仕事でも三年は我慢し、努めよ。
- イ たとえ辛いことでも、長い間辛抱すればいい結果が得られる。
- ウ 一つの場所に住み続けると、慣れ親しんで居心地の良い場所となるものだ。
- エ 長い間努力して成果が得られぬ時は、心機一転、学び働く環境を変えよ。

五、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

敬語の基本は **A** ようにという意識である。人間と人間がふれ合うとき、とかく、おもしろくない心理的摩擦を生ずる。ときに熱をおびる危険がある。それを避けるための潤滑油がほしい。敬語はそのために用いられる。相手を尊敬するかどうかではない。互いに気まずい気持ちにならないようにことばに油をぬるのが大人の知恵である。

そういう点からすれば、あいさつも敬語に通じるところがある。朝、多少おそくても、「おはよう」と言う。どんな唐変木¹でも「おそいですね」と言わない。相手を立てること²によつて、自分のイメージがよくなる。敬語は人のためならず。³

アメリカのコカ・コーラがはじめて日本へ渡来したとき、キャッチ・フレーズでひと悶着があつた。アメリカの宣伝文句は Drink Coca Cola（「飲めコカコーラ」）である。海外へ進出するにあたつて、その国のことばでこれを訳したものを使う。かつて例外がない。当然、日本にもそれを強制した。日本側はおどろき、当惑した。いくら工夫してみても、Drink Coca Cola に相当する日本語はできない。アメリカ側に対して必死の抵抗をして、やつと、「すかつとさわやかコカコーラ」をアメリカにのませた。使ってみると、大成功であつた。「飲めコカコーラ」を「すかつとさわやかコカコーラ」としたところには **B** の心が宿っている。それで日本の消費者に快く響いたというわけである。

後にノーベル賞を受けることになる A・L・レゲット博士は、若いとき京都大学にいて日本人物理学者の書く論文の英訳の仕事をした。あるとき「訳せぬ」であろう」というエッセイを学界誌に発表して大騒ぎになつた。レゲット博士は言う。「物理学は厳密科学である。しかるに日本人の論文にはしきりに「であろう」という表現がでてくる。おかしい。訳そうとしても英語にならない」という趣旨の告発である。日本の学界はショックを受け、物理学だけでなく広く自然科学の論文からいっせいに「であろう」が姿を消した。**C** ことを示す一例であり、科学者といわれる人たちが日本語のことをよく知らないことを暴露したエピソードである。

レゲット博士は物理学では天才であつたらしいが、日本語については中学生程度の知識しかないとをみずから宣伝したようなものである。恐縮した日本人は自国の文化に対するプライドをもっていないことを暴露して恥をかいたということになる。

「であろう」はあいまいな表現ではない。「である」では、いかにも、威張っているような感じでおもしろくないから、あえて、ボカしたのである。「であろう」も意味は「である」と等価である。相手への顧慮が加わつて「であろう」になる。つまり、これは敬語ではないけれども敬語の論理がはたらいているのである。それに、「である」が頻発されるのは耳ざわりでおもしろくない、バリエーションをつけようというのも日本人の感覚である。

はつきり言つては相手に対して失礼になるから、あいまいな表現をするのが大人である。こどもはそんなことにおかまいなしに、スピードをスピードと呼ぶ。こどもは敬語を知らない。

たいていの子は十歳すぎまで、「お父さん」ということばを卒業できない。お父さんは敬語ではない。⁴父と呼びすてにすることが、相手を高める敬語のはじまりになる。相手には 「お父さん」よりも 「父」と言つた方がこちよく響くのである。この 「父」 はりっっぱに敬語である。

国語 問題 3／3	キャリア教養学科 生活科学科福祉こども専攻	受験番号	番 氏名
--------------	--------------------------	------	---------

「われ」と「なんじ」の論理が支配することばの社会では、近いことはよいことである。命令形がやさしい感じをともないうる。客に向かつて「飲めコカコーラ」といつても失礼になったりしないのである。

「おたがい」「われわれ」の論理が通用するところでは、近づくのをきらう。なるべく離れることが相手にやさしいことになる。文字どおりの「敬遠」が好ましい。日常生活でナマの命令形は使われることがきわめてすくない。

目の前の人を「あなた」と呼ぶ。D「どこににいるかのようなようである。直接言及するのをさけて、「お前」、つまり、相手の手前をさし言う。

外山滋比古著『ことば点描』（大修館書店 2012年所収）

問一 A に入る最も適当な語句を次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 相手に敬意の気持ちを示す イ 相手に不快の念を与えない
ウ お互い親しみを抱く エ お互い自己主張を遠慮する

問二 傍線部1の意味として最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 無知な人 イ 疎遠な人 ウ 分らず屋 エ 威張っている人

問三 傍線部2について、ここではどういうことが「相手を立てる」ことになるのか、分かりやすく四十字以内で説明しなさい。

問四 傍線部3は「情は人のためならず」のことわざをもじったものだが、この「情は：」のことわざの意味を五十字以内で説明しなさい。

問五 B に入るべき漢字二字の言葉を、ここまでの文章の中から探して記しなさい。

問六 C に入る最も適当な語句を次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 日本では厳密科学は育たない イ 英語圏の学者は日本の科学を劣等視する
ウ 日本の科学者は同調圧力に弱い エ 日本人が外圧に弱い

問七 傍線部4「お父さんは敬語ではない」と作者が述べている理由を、五十字以内で説明しなさい。

問八 D に入る最も適当な形容詞を、漢字交じりの二字で答えなさい。

問九 傍線部5と6の社会の違いについて、言語表現に関すること以外の領域でもよいから、テーマを考え、あなたが気付いたり、思ったりしたことを五百字以内で記しなさい。